小学校国語 全体考察

小学校国語A(主として「知識」に関する問題)

◇ほぼ全ての項目で、おおむね定着しています。

「話すこと・聞くこと」について

◇互いの話を聞き、考えの共通点や相違点を整理しながら、進行に沿って話し合うことは、定着しています。

「書くこと」について

◇自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えることは、おおむね定着しています。

「読むこと」について

◇目的に応じて、文章の中から必要な情報を見付けて読むことは、定着しています。

「言語についての知識・理解・技能」について

◆学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読むことは、おおむね定着していますが、正しく書くことには、やや課題があります。

小学校国語B(主として「活用」に関する問題)

- ◇目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことについては身に付いてきています。
- ◆文章を読み、字数や表現の仕方など、決められた条件に従って的確に書くこと に課題があります。<問題ごとの考察参照>
- ◆物語を読み、具体的な叙述を基に理由を明確にして自分の考えをまとめること に課題があります。<問題ごとの考察参照>

小学校国語 問題ごとの考察

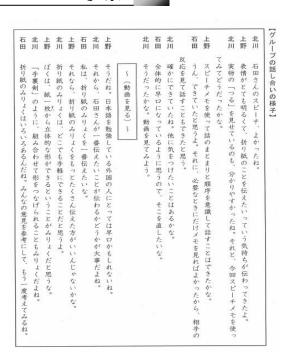
1 調査問題B

(文章を読み、字数や表現の仕方など、決められた条件に従って的確に書く問題)

(1) 学習・指導の状況

問題文中の【グループの話し合いの様子】の範囲の言葉を使い、スピーチメモのよさを 40 字以内で書くという問題です。会話文の中の a 「話のまとまりと順序を意識して話す」b 「相手の反応を見て話す」のどちらか一方または両方を使い、かつ40 字以内という条件に当てはまらない答え方をしている児童が約3割見られました。

スピーチメモのよさを問う質問に対し



て、会話文の中からスピーチメモとは関係ないものを拾い出してしまったことも一つの要因だと思われます。

(2) 指導改善に向けて

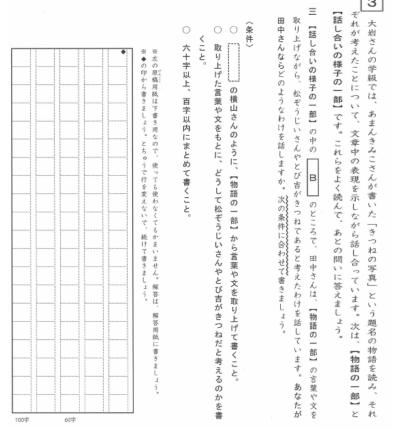
問題の文意を正確に読み取り、答える範囲や方法、答え方などを把握した上で答えることが大切です。そのためには、該当箇所に傍線を引くなどして、どこから答えるかの範囲をきちんとつかむことが大切です。また、小グループに分かれて、話し手の意図を捉えながら聞いたり、自分の意見と比べて考えをまとめたりする活動を積み重ねることも必要です。さらに、決められた条件に従って的確に書く学習を普段の授業や家庭学習等に取り入れることも大切だと考えます。

2 調査問題B

(物語を読み、具体的な叙述をもとに理由を明確にして自分の考えをまとめる問題)

(1) 学習・指導の状況

「物語文を読み、文中か ら取り上げた言葉や文をも とに、決められた字数の中 で自分の考えの理由を書 く」という問題です。条件 の一部が満たされていない 児童や、どのように答えた らよいかがわからずに無解 答になってしまった児童が およそ4割見られました。 また、根拠となる叙述を文 章から見付けただけで、理 由を書くことができなかっ た児童もいました。問題の 文意を十分に理解できなか ったことが誤答につながっ たと考えられます。



(2) 指導改善に向けて

何を問われているのかを正確に読み取る力が必要です。その上で、必要な箇所に傍線を引くなどして関係する叙述を見付け、複数の場面の叙述を相互に関連付けながら読むことを大事にしたいと思います。そのためには、普段から根拠(叙述)をもとに、自分なりの理由を友だちと吟味し合えるような、温かな人間関係のある学習集団づくりを行うことが大切だと考えます。

また、字数や使用する語句などの条件を設定した「条件日記」なども、楽しみながら条件に従って書く力を付けることにつながると思われます。